### sentryswap

ログプレッソ・ソナーサーバー上でセントリーがインストールされている場合に使用できるコマンドであり、セントリー転送キューにスワップされているデータを照会します。

#### 構文

sentryswap [base=NAME]

オプションパラメータ

**base=NAME**

セントリーと接続されているベースサーバーの固有識別名を指定します。指定しない場合は、すべてのセントリーのスワップデータを表示します。

ベースサーバーとは、セントリーからログを受信するログプレッソ・ソナーサーバーを指します。セントリーは、それぞれ異なるログプレッソ・ソナーサーバーへデータを転送することができます。セントリーの転送キューは、ベースサーバーごとに個別に管理されます。

#### 説明

通常、滞留現象が発生した際に転送キューで待機しているデータ件数を確認したり、転送キュー内のデータをバックアップした後にスワップを削除して、システムの接続状態を即時に復旧したい場合に使用します。

出力フィールドは以下の通りです。

* \_time: タイムスタンプ
* \_logger: ロガー名
* 転送待機バッファ内にあるレコードのキーと値のペア

sentryswapは、ログプレッソ・ソナーとセントリーが同一ホストにインストールされている場合にのみ使用できます。セントリーのみがインストールされたホストでスワップ状況を確認する場合は、ログプレッソシェルでsentry.swapStatsコマンドを使用してください。